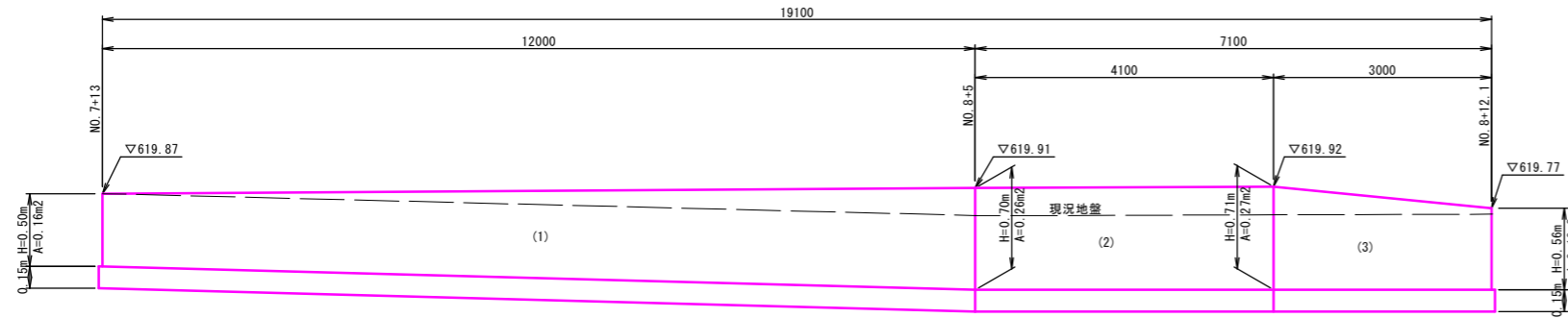


擁壁工構造図

1号土留擁壁工展開図

V= 1:50(A3) 1:25(A1)
H=1:100(A3) 1:50(A1)

(正面側)



DL=619.00

1号土留擁壁工数量

1. コンクリート (18-8-40BB)
V1=(0.16+0.26)/2 × 12.00=2.52m³
V2=(0.26+0.27)/2 × 4.10=1.09m³
V3=(0.27+0.19)/2 × 3.00=0.69m³
Σ V= 4.30 m³

2. 型枠
A1=(0.50+0.70)/2 × 2.118 × 12.00=15.2m²
A2=(0.70+0.71)/2 × 2.118 × 4.10= 6.1m²
A3=(0.71+0.56)/2 × 2.118 × 3.00= 4.0m²
A4=0.16+0.19=0.4m²
Σ A= 25.7 m²

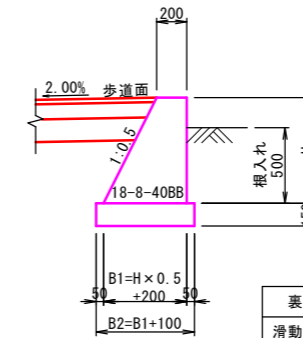
3. 基礎砕石 (RC40-0, t=15cm)
A1=(0.55+0.65)/2 × 12.05=7.2m²
A2=(0.65+0.66)/2 × 4.10=2.7m²
A3=(0.66+0.58)/2 × 3.05=1.9m²
Σ A= 11.8 m²

4. 目地 (エラストイト t=10mm)
10mに1箇所
N=19.10/10.0=2箇所
平均断面積
A'=4.30/19.10=0.23m²
Σ A=0.23 × 2= 0.5 m²

土留擁壁工 標準断面図

S= 1:50(A3) 1:25(A1)

国土交通省制定 土木構造物標準設計第2巻
小型重力式擁壁 SGW17 適用



設計条件

裏込め土	砂質土
滑动摩擦係数	$\mu=0.6$
地盤反力度	$q1=50$ (kN/m²)

特記

- 背面埋戻し土の土質は、砂質土と設定しているため、土質定数がそれ以下の場合、擁壁形状の検討が必要となる。
- 施工時には平板載荷試験等を行い、基礎地盤に地盤反力度以上の支持力があるが確認すること。
- 根入れ深さは、H=50cm以上確保する。

交通安全事業(通学路緊急対策)			
金井片羽線道路改良工事(第2工区)			
番号	8/10	擁壁工構造図	縮尺 図示
市道 金井片羽線			
東御市 乙女平			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
東御市			